

平成 27 年度事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 SMSC

1 事業の成果

共同生活援助事業の運営では、現在 14 名の住居支援を行っている。入居者の増減が多少はあるものの、個々のスタイルに合わせた生活を支えることに貢献している。

多機能型就労支援事業所は、就労移行支援事業 6 名、就労継続支援 B 型事業 14 名、定員 20 名の就労支援事業を行っている。通所者は 19 名で一人一人に合わせた仕事、就労支援を行うことで、一人一人の働く機会の提供と働く意欲の向上、また今後一般就労へと結びつけることで生活の質の向上に貢献している。今年より（有）立花パッケージへの外部作業が増えて、工賃アップと就労訓練に成果が出ている。

相談支援事業は、計 14 名の方の相談支援を行うことで、地域で生活していくための不安の除去に貢献している。

メンタルサポート相談については、平成 25 年度より始まった無料相談会が、本年も毎月かすみがうら市にて行っている。昨年は参加できていたが、他の業務が多忙になり本年はあまり参加できなかった。

その他の事業については本年度も実施しなかった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
自殺に関する調査研究、情報収集及び提供事業	会報の発行 ホームページによる情報発信	本事業年度は実施しなかった。	—	43,142 ※詳しくは決算報告書に記載。
メンタルサポート相談事業	かすみがうら市にて毎月無料相談会の開催	(A) 第 3 週土曜日 (B) かすみがうら市地域福祉センター (C) 7 名	(D) 県南地域 (E) 10 万人	

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス運営事業	共同生活援助事業の運営 サポートシェアハウスいなしき	(A) 通年 (B) 稲敷市 (C) 8名	(D) 茨城県 県及び近隣地域の 障害者及び社会的 入院者 (E) 5.5万人
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス運営事業	就労支援事業の運営 (おんらが村)	(A) 通年 (B) 稲敷市 (C) 4名	(D) 茨城県 県及び近隣地域の 障害者及び社会的 入院者 (E) 5.5万人
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業	相談支援事業所まいるの 運営	(A) 通年 (B) 稲敷市 (C) 2名	(D) 茨城県 県及び近隣地域の 障害者及び社会的 入院者 (E) 5.5万人
引きこもりサポート事業		本事業年度は実施しなかった。	—
市民との交流事業		本事業年度は実施しなかった。	—

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額(単位：千円)
物品販売事業		本事業年度は実施しなかった。	—